

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表：令和5年3月31日

事業所名 放課後等デイサービスFlos

(96)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100	0	0	法令遵守し、適切なスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	90	10	0	専門性の高い支援のため、有資格者を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50	40	10	階段に手すりの設置を行っています。契約時に階段について説明をし、ご了承をいただいています。	出入り際の職員による声かけを積極的に行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	80	10	10	保護者様に直接支援のフィードバックを行っています。	担当の職員に拘わらず目標を共有しより良い支援につなげます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80	10	10	保護者様の意向を把握するためにアンケートを行っています。	アンケート調査実施を直接お伝えし周知を図っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	70	20	10	HPとHUG、教室に掲示を行います。	開業初年度ですので、今年が初めての自己評価の公開となります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50	40	10	実施していません。	必要に応じて実施を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	90	10	0	定期的に研修を行っております。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100	0	0	初回面接をお子様・保護者様とそれぞれ行い、保護者様のニーズ・お子様の現状を把握し、必要であれば検査を案内し、支援計画に活かしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	90	10	0	アセスメントシートを活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	90	10	0	お子様達が色々な体験ができるように職員全員で話し合っってプログラムを作成おります。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100	0	0	年中行事を取り入れたり固定化されないように工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	90	10	0	お子様の現状を合わせた課題を行っております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	90	10	0	お子様の課題にあわせて個別とグループを組み合わせサービス計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	90	10	0	支援前は打合せを行い、支援内容や役割を確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	90	10	0	支援後は振り返りを実施し、意見交換を行い、次回の支援につなげています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100	0	0	サービス提供記録、業務日誌を徹底して記録をとっています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	90	10	0	定期的にモニタリングを実施し現状を把握した上でサービス計画を見直ししております。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	70	30	0	アセスメントを基に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定し、放課後等デイサービス計画を策定しています。		
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80	20	0	ケース会議には管理者、児童発達支援管理責任者が必ず参加しております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	60	20	20	保護者様のご要望により学校との連携を行っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要なお子様の受け入れを行っておりません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50	30	20	必要に応じて情報共有を行って参ります。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	60	40	0	必要に応じて情報共有を行って参ります。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	70	30	0	必要に応じて連携を行って参ります。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表：令和5年3月31日

事業所名 放課後等デイサービスFlos

(96)

関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50	30	20	来年度より、子育て部門と連携を図り、地域のお子さまと交流する機会を設けていきます。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	70	30	0	オンラインを活用し、区の課題部会等には必ず参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	90	10	0	支援のフィードバックや面談を通して共有しております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	90	10	0	むぎぐみの心理相談部門においてペアレント・トレーニングを実施しております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	90	10	0	説明会及び契約時の説明の際、丁寧にお伝えするよう心掛けております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	90	10	0	お子様の状況に応じて相談時間を設けるなど適切な対応を心掛けております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80	20	0	Flosサロンなどを開催し、保護者同士のつながりの場を設けております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100	0	0	苦情受付窓口を設置し、迅速に対応して参ります。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	90	10	0	HUGの活動記録を活用して、行事やお知らせを発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100	0	0	個人情報記載の資料は鍵付きキャビネットを使用しており、取り扱いには十分注意しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100	0	0	お子様の特性に応じて配慮しております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	80	20	0	子育て部門やコンサート部門と連携し、イベントを開催しています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100	0	0	各マニュアルを策定し、HUGや事務所設置、教室掲示を行っております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100	0	0	避難訓練を実施し、避難先までの経路の危険箇所を確認しております。	今年度は支援中に避難訓練を実施し、お子様と一緒に訓練を実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100	0	0	虐待防止の研修を行い適切な対応を共有しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100	0	0	身体拘束は行っていませんが、お子様の安全確保のための行動制限については、保護者に説明を行い了承を得ております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				食べ物の提供を行っていません。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100	0	0	ヒヤリハット事例を作成し会議で共有しております。		